

釣り名人間違い  
ナシのお守り

あらら神様って、意外と融通きくモンなのね

「あ、ルアー無くした！ じゃお守りを替わりに…」釣り続行。そんなワケでは決してナイ（はず）。が、これってまんなルアー？ 疑問は早速解決を…と貴船神社をたずねれば「バス釣りのルアーですわ」とのお返事。そんなんアリ？「ええ、お守りとは本来肌身離さず大切に持っていたりしたくもの。『大漁満足』と『水難除け』を願うお守りは、釣り人に親しみのあるこの形がよいのでは」と、相成った次第とか。神様って心広〜い方なのね（やっぱり）。



そもそも水の神様を祀っている貴船神社。種類や色は数え切れないほど…という「ルアー一舟」は各1000円

●貴船神社  
■京都市左京区鞍馬貴船町180  
☎075-741-2016  
●9:00~16:30  
(ライトアップ時は延長)

貴船では今秋から紅葉ライトアップがスタート。11月7日~23日の期間、貴船神社を中心に幽玄の美が味わえる。ルアー守入手とライトアップ、一度で二度イイシイ貴船である



コーヒー&蛮弾  
佛蘭遺の喫茶室



展示されているディディウスモルフォ、アレクサンドラトリパネアゲハなどの希少種を求めて、若き日のマスターはアマゾンまで遠征したらしい

昭和喫茶の〇秘メニュー!?  
看板に浮かぶ奇妙な5文字

祇園界隈をそぞろ歩いていたある日、一軒の昭和喫茶の前で突如前進不可能な事態が勃発。なぜならその店の看板には「Coffee &蛮弾佛蘭遺」なる逆立ちしても解読できない謎の漢字が踊っていたのだ。このままでは夜も眠れん！と午前8時の開店と同時に店へ突入。単刀直入に訊ねると「読んだ通りよ。ほら、アレ」とママさんは壁に掛けられた色とりどりの蝶の標本を指差した。はっはあ〜ん、了解。「バタフライ」ってことで夜露四苦！なワケね。へえ〜！



祇園通通りの原已橋へ抜ける間に佇んでいる昭和喫茶、マスターが中学生時代にのめり込んだ蝶標本集が「蛮弾佛蘭遺」の由来である

今月の  
オレが  
甘かった



ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。「Clb Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともあり。編集部の熱望により本誌への登場と相成った。

改めて気付く詩の温もり、そして神の加護。車折駅(くるまざき)~鹿王院駅~嵯峨駅前駅区間編

至嵐山駅

嵯峨駅前駅

鹿王院駅

車折駅

至有栖川駅

車折神社

あんな人もこんな人も

「暮らしの中の一つに、詩があってもいいと思う。だから日々、町の暮らしを乗せて走る嵐電に、詩を展示しているんですよ」

車折駅、鹿王院駅はわずかに〇秒!?

「詩の散歩」

車内広告に慣れた目には新鮮な詩のディスプレイ

詩人 深井ゆうじさん

地名の由来が不吉だから包む神の加護ありがたい

ゴールの嵐山駅を間近に控え、一抹の寂しさを胸に乗り込む今回の駅は、車折神社に隣接する車折駅だ。嵯峨嵯天皇の牛車(うしぐるま)の轍(なごえ)がこの地で折れたと伝わる名由来は、牛車の御者(みより)と鹿王院の運転士(うんてんし)、呼び名は遠えと密を預かる身としての鹿王院の御者(みより)と鹿王院の御者(みより)との距離、でも吊革を握ったままの目線間近に、車内刷りの詩を掲げた。今改めて読む、嵐電の各車両にあられわたるこの心温まる詩は、慣れきった電車の揺れを新鮮な心地よさに変えてくれる。神の加護と心に温もりを添える言葉が彩る、車折駅、鹿王院駅、嵯峨駅前駅区間である。

ね、京都を中心に活動する詩人の深井さん。京都生まれの深井さんは、幼少の頃から、嵐電などの路面電車を愛用して、今も変わらずスタイルで走る嵐電には、親しみと懐かしみを持つ嵐電ファンでもある。京福電車の代表者も、毎年交通安全祈願に参拝する車折神社。その境内にある芸能神社の芸能玉座。歌舞伎役者から、嵐電にも縁がありそうな一文字のアイドルグループまで、その数およそ200枚。は、車折駅から鹿王院駅までの距離は約325mと嵐電でも、二を争うほど短く、鹿王院駅に停車中の電車が車折駅ホームから見える。嵐電のほぼ各車両に、嵐電のほほ各車両毎に一件作品ずつ展示される深井さんの詩。区間距離が短い嵐電でも、ほどよく読み風電もあって、嵐電を通勤に使う人の中には、今日はどの作品かと、詩を楽しみに乗る人も多いとか